

慈明院寺報十月号

慈明院の聖天縁起

写真のお堂は聖天堂しょうてんどうといい、歓喜天かんきてん（別名を大聖歓喜天・聖天と呼ぶ）をおまつりしている。この聖天様という仏様は「七代の福を一代で取る」と伝えられる程、強い力で人々の願いをかなえてくれるという。

慈明院の聖天様は、お寺を開いたばかりの昭和五十三年、宮脇平八郎という総代さんそうだいがお寺に寄進してくれた仏様である。宮脇さん曰く「明海さんみょうかい（先代の住職）のお師匠さんである安武泰応僧正から、商売の守り神として授けてもらった。おかげで材木を扱う店まで持てたが、年齢の事もあるので粗末そまつになったら申し訳ない。お寺でおまつりしてくれませんか？」そこで父である先代住職・明海が仏様を引き受けて、お寺におまつりするようになった。



約十年前に亡くなった父曰く「聖天様がお寺に来てから、やっとお寺らしい事ができるようになった。ただし必要な時に必要なものが、必要なだけ出てくる。必要無いものは出てこない。本当に怖い仏様だ。」

父が生前によく言っていた「必要なものと欲しいものは違う。」という教えは、案外聖天様が授けてくれた智慧なのかもしれない。今年で聖天堂が新調されて十年目の節目である。末永くお寺や檀信徒の守り本尊として、福を授けて下さいますように。

住職 合掌

塔婆供養成満の御礼

去る九月二十二日（秋分の日）、当院本堂におきまして塔婆供養をお勤めさせて頂きました。塔婆供養の申し込みを頂きました皆様に篤く御礼申し上げます。またご参拝頂きました皆様、誠に有難うございました。

ご供養させて頂いた塔婆は、納骨堂横の『供養堂』で来年のお施餓鬼まで約一年間、安置奉納致します。どうぞご来寺の際はお参り下さいませ。 合掌

聖天様 断ち物祈願法会のご案内

来る 令和六年 十一月三日（日曜日）文化の日

午前十一時より

『聖天堂』しょうてんどう（丸い円形の御堂おどう）に鎮座している大聖歓喜天（通称・聖天様）をお祀りする法会です。住職が風呂敷護摩というご祈願を行い、今年最後の厄祓やくばらい、慈明院の締めくくりの法会です。どなたでもご参拝できます。どうぞお参り下さいませ。（昼食と聖天様の好物・大根をお接待致します）



慈明院（〒八一一一三三福岡市早良区大字西二三四一・二〇）
TEL（〇九二）八〇四・四五七〇 FAX（〇九二）八〇四・四六〇五
住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇・（五二八一）・七四九四